

平成31年度「学びの変革」に向けて

先日の『学びの変革』推進委員研修で、まず初めに尾道市教育委員会杉原教育部長が「これからの社会に必要な知識・技能とは、各教科で学習し習得した知識を知っているだけでは不十分で、習得した知識・技能をどう使い、活用するかということが求められています。」とお話しされました。

この話は、Shima Navi Times の No.8 で本校の育む資質・能力で説明した「知識・技能」の具体と合致すると感じました。また、「知識・技能」を育むためには、知識を問う発問を少し工夫することで、生徒思考を深めることにも繋がるとアドバイスをいただきました。明日からできる授業改善の一步ですね。

1月も終わりに差し掛かり、いよいよ平成30年度もまとめの時期となりました。そこで今回は、今年1年の先生方が取り組んでこられた授業改善をもう一度振り返り、平成31年度に向けてさらに『学びの変革』をさらに質の高いものにしていただきたいと思います。チーム向島として、残り2ヶ月がんばりましょう！

「学びの変革」チェックシート

日々の授業や教育活動を振り返っていただき、次のアンケートに回答してみてください。

	とても そう 思う	そう 思う	あまり 思わ ない	思わ ない
① 今年度、『学びの変革』を意識した単元開発を行った指導案を作成し、研究授業を行うことができた。				
② 授業では、子ども同士が自分の考えを話し合う場面を設定することができる。				
③ 授業では、話し合いの場面や考えさせる場面で、生徒にアドバイスや説明・解説を行うのをグッと我慢することができる。				
④ 授業では、4月に提示した向島中学校授業モデルを意識した授業作りを行っている。				
⑤ 授業では、発表や記述を積極的に行う生徒だけでなく、全ての生徒に発表の場面や説明を行わせるようにしている。				
⑥ 授業では、習得した力の全てを生徒に発揮させるような学習課題等に取り組ませている。				
⑦ 職員室や学年会、分掌会では、日々の授業での工夫や発問の工夫など授業についての会話を行うことがある。				
⑧ 授業での生徒の様子を交流する際に、できるようになったことだけでなく、生徒一人一人の変容を交流している。				
⑨ 先生が楽しく授業について議論したり、追究したりすることを生徒にも同じように体験させるようにしている。				

If you want to see what children can do , you must stop giving them things .